

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成23年8月15日
【四半期会計期間】	第45期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	アルビス株式会社
【英訳名】	ALBIS Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大森 実
【本店の所在の場所】	富山県射水市流通センター水戸田三丁目4番地
【電話番号】	0766(56)7200(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 笹田 悦朗
【最寄りの連絡場所】	富山県射水市流通センター水戸田三丁目4番地
【電話番号】	0766(56)7200(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 笹田 悦朗
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第1四半期連結 累計期間	第45期 第1四半期連結 累計期間	第44期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
営業収益(千円)	19,518,398	16,506,246	72,281,979
経常利益(千円)	302,125	248,897	1,052,681
四半期(当期)純利益(千円)	10,855	124,629	46,408
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	75,328	131,577	66,441
純資産額(千円)	13,441,779	13,321,475	13,319,923
総資産額(千円)	33,633,822	31,840,344	32,346,132
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	0.33	3.83	1.43
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	40.0	41.8	41.2

(注) 1. 営業収益は、売上高に不動産賃貸収入を加えたもので表示しております。

2. 営業収益には消費税等は含んでおりません。

3. 第44期第1四半期連結累計期間及び第44期並びに第45期第1四半期連結累計期間は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、いずれも潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は記載しておりません。

4. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

5. 第44期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当社グループは当社、連結子会社3社及び非連結子会社1社により構成されています。

当社及び連結子会社である㈱サンピュアーは、直営食品スーパーマーケットを主な事業としており、それに付随して不動産賃貸などを行っております。また、連結子会社の㈱アルデジャパンは惣菜品の製造及び精肉加工を、連結子会社の㈱クレハ食品は豆腐商品類の製造を行っており、いずれも直営スーパーマーケットを補完する事業として位置付けております。

なお、平成23年4月に、商業施設の管理、賃貸及び管理を行っていた連結子会社の北陸マーケット開発㈱を当社に、また、チェーン本部業務を営んでいた連結子会社の㈱新鮮市場を㈱サンピュアーにそれぞれ吸収合併いたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び原発事故が国内経済に与えた影響は甚大で、電力供給の問題もあり先行き不透明な状況となっております。

当食品小売業界におきましては、個人所得の低迷と競合他社との同一商圈内の出店による価格競争が激化し、取り巻く経営環境はより一層厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、石川県金沢市の大型商業施設「イータウン金沢」と直営店「アルビス高柳店」を6月に開業し、北陸3県における店舗数は50店舗となりました。

営業面におきましては、月間重点商品「チャレンジ100」の販売を通し、生活に欠かせない必需品を低価格で販売し、購買意欲を喚起することに継続して努めるとともに、クレジットカード決済サービスの導入及び一部店舗でのセルフレジの導入等、お客様への利便性向上に取り組みました。

しかしながら、営業収益については、スーパーマーケット事業の既存店売上高は、ほぼ前年並みであったものの、外販部門の大幅な売上減少があったため減収となり、また利益面では生鮮食品強化策による粗利益の改善や業務改革による営業コスト削減に取り組みましたが、外販部門売上減少による売上総利益の減少を補うことができず、営業利益、経常利益ともに減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益16,506百万円（前年同期比15.4%減）、営業利益178百万円（前年同期比30.3%減）、経常利益248百万円（前年同期比17.6%減）、四半期純利益は124百万円となり、前年同期に比べ113百万円増加いたしました。

なお、当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

また、平成22年6月30日提出の有価証券報告書に記載した設備の新設計画「金沢高柳SC及び直営店舗（仮称）」は、平成23年6月に完成し、同月より「イータウン金沢及びアルビス高柳店」として営業を開始しております。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	33,779,634	33,779,634	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	33,779,634	33,779,634	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	33,779,634	-	1,829,322	-	2,405,774

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,273,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 32,452,000	32,452	-
単元未満株式	普通株式 54,634	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	33,779,634	-	-
総株主の議決権	-	32,452	-

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アルビス株式会社	富山県射水市流通センター水戸田三丁目4番地	1,273,000	-	1,273,000	3.77
計	-	1,273,000	-	1,273,000	3.77

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,249,983	2,488,463
売掛金	334,138	315,999
商品	1,283,956	1,389,161
仕掛品	532	592
原材料及び貯蔵品	54,509	57,620
その他	1,024,058	870,196
貸倒引当金	100,530	83,440
流動資産合計	5,846,648	5,038,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,810,524	7,355,579
土地	10,086,609	10,256,338
その他(純額)	2,473,345	1,866,240
有形固定資産合計	19,370,480	19,478,159
無形固定資産		
のれん	790,490	734,071
その他	598,379	643,088
無形固定資産合計	1,388,869	1,377,160
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,020,359	4,029,952
その他	1,938,548	2,135,157
貸倒引当金	218,773	218,678
投資その他の資産合計	5,740,134	5,946,430
固定資産合計	26,499,483	26,801,750
資産合計	32,346,132	31,840,344
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,580,386	3,666,141
短期借入金	2,007,000	1,352,000
1年内返済予定の長期借入金	2,576,674	2,706,882
未払法人税等	223,904	168,149
賞与引当金	368,355	183,297
その他	1,827,799	2,100,820
流動負債合計	10,584,118	10,177,289
固定負債		
社債	294,000	272,000
長期借入金	6,328,439	6,185,086
受入敷金保証金	843,890	839,756
資産除去債務	422,996	425,319
その他	552,764	619,416
固定負債合計	8,442,089	8,341,578
負債合計	19,026,208	18,518,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,829,322	1,829,322
資本剰余金	2,545,005	2,545,005
利益剰余金	9,447,378	9,441,982
自己株式	305,248	305,248
株主資本合計	13,516,459	13,511,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,805	191,858
その他の包括利益累計額合計	198,805	191,858
新株予約権	2,270	2,270
純資産合計	13,319,923	13,321,475
負債純資産合計	32,346,132	31,840,344

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 1 四半期連結累計期間】

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	19,244,624	16,235,179
売上原価	14,531,013	11,811,455
売上総利益	4,713,610	4,423,724
不動産賃貸収入	273,774	271,066
営業総利益	4,987,384	4,694,790
販売費及び一般管理費	4,731,546	4,516,345
営業利益	255,838	178,445
営業外収益		
受取利息	8,593	7,847
受取配当金	10,008	10,446
受取手数料	14,678	12,588
持分法による投資利益	4,792	-
受取販売奨励金	30,097	32,801
その他	31,528	54,923
営業外収益合計	99,699	118,606
営業外費用		
支払利息	48,689	45,487
その他	4,723	2,667
営業外費用合計	53,413	48,155
経常利益	302,125	248,897
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,436	-
店舗閉鎖損失引当金戻入額	643	-
特別利益合計	5,079	-
特別損失		
固定資産除却損	956	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	232,325	-
特別損失合計	233,281	-
税金等調整前四半期純利益	73,923	248,897
法人税、住民税及び事業税	219,075	160,515
法人税等調整額	156,006	36,248
法人税等合計	63,068	124,267
少数株主損益調整前四半期純利益	10,855	124,629
四半期純利益	10,855	124,629

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,855	124,629
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	86,183	6,947
その他の包括利益合計	86,183	6,947
四半期包括利益	75,328	131,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,328	131,577
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<p>連結の範囲の重要な変更</p> <p>当第1四半期連結累計期間において、当社は、平成23年4月1日付で連結子会社である北陸マーケット開発㈱を吸収合併いたしました。</p> <p>また、当第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である㈱サンピューアは、平成23年4月1日付で連結子会社である㈱新鮮市場を吸収合併いたしました。</p>

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<p>(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)</p> <p>当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)								
<p>偶発債務</p> <p>連結会社以外に対する保証は次のとおりであります。下記の者の金融機関からの借入金に対し、債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">株式会社アピア</td> <td style="text-align: right;">1,744千円</td> </tr> <tr> <td>従業員</td> <td style="text-align: right;">53</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,797</td> </tr> </table>	株式会社アピア	1,744千円	従業員	53	計	1,797	<p>偶発債務</p> <p>連結会社以外に対する保証は次のとおりであります。下記の者の金融機関からの借入金に対し、債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">株式会社アピア</td> <td style="text-align: right;">496千円</td> </tr> </table>	株式会社アピア	496千円
株式会社アピア	1,744千円								
従業員	53								
計	1,797								
株式会社アピア	496千円								

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

(単位：千円)

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	309,699
のれん償却額	117,154
	減価償却費 321,783
	のれん償却額 56,418

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	130,034	4.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	130,025	4.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパー マーケット 事業	外販事業	その他の事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	15,711,950	3,668,528	137,919	19,518,398	-	19,518,398
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,723	45,888	83,652	131,265	131,265	-
計	15,713,673	3,714,417	221,572	19,649,663	131,265	19,518,398
セグメント利益	284,256	198,275	19,982	502,515	246,676	255,838

(注)1. 「調整額」には、セグメント間取引消去5,653千円、各報告セグメントに配分していない全社費用252,329千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度まで、「スーパーマーケット事業」、「外販事業」、「その他の事業」を報告セグメントとしてセグメント情報を開示しておりましたが、「スーパーマーケット事業」の継続的な規模拡大を図った結果、「スーパーマーケット事業」以外の事業の重要性が乏しくなったため、当第1四半期連結会計期間よりセグメント情報の記載を省略しております。

なお、「その他の事業」に含まれていたデベロッパー業務については、社内のマネジメント体制を変更し、「スーパーマーケット事業」に付随する事業として同事業と一体的な管理を行うこととしております。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 共通支配下の取引等

(1) 取引の概要

対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称: 北陸マーケット開発㈱

事業の内容: 商業用施設用地の開発・賃貸及び管理

企業結合日

平成23年4月1日

企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で北陸マーケット開発㈱は解散いたしました。なお当社全額出資子会社であるため、合併による新株式の発行及び合併交付金の支払いは実施していません。

結合後企業の名称

アルビス㈱

その他取引の概要に関する事項

食品スーパー業界における今後のさらなる競争激化や急激な環境変化に対応し、経営資源の集中化による経営効率の向上、顧客対応の充実及びコストダウンの実現を目的としております。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	0円33銭	3円83銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	10,855	124,629
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	10,855	124,629
普通株式の期中平均株式数(千株)	32,508	32,506
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月15日

アルビス株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 啓三 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡田 芳明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアルビス株式会社の平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年 4月 1日から平成23年 6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年 4月 1日から平成23年 6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アルビス株式会社及び連結子会社の平成23年 6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。